

# ARIM Nagoya Univ. Hub

加工・デバイスプロセス分野

---

データ登録について

# 目次

---

P3. RDEシステム

P5. DICEアカウント登録について

P6. 研究チームとは

P7. データセットについて

P8. データ登録のタイミング

P9. RDEデータ登録の流れ

# RDEシステムについて

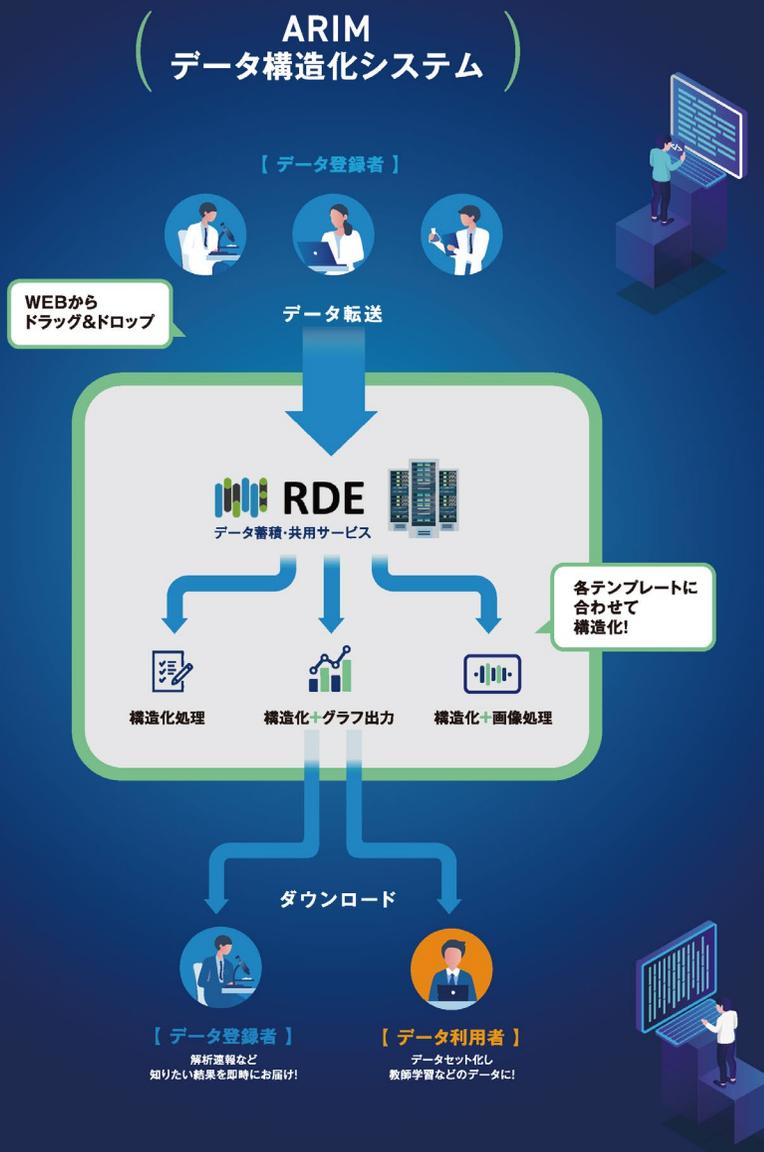
ARIM事業では、全国25の大学・研究機関の先端共用設備を整備・高度化し、全国の産学官の研究者・技術者の皆様にご利用して頂いております。

これと同時に、共用機器等から創出されたデータ等を、事業のシステム（RDEシステム）へ登録することとしています。登録によりデータは構造化されるため、複雑なファイル構造をもつデータや多量のデータであっても、すぐに使える形となります。また、データは系統的に蓄積されていきますので、データを登録した同じ研究チームの方が退職・卒業されたとしても、収集されたデータは散逸することなくいつでも確認できるようになります。

構造化されたデータは、事業参画25機関で共通したデータ形式にそろえたデータセットとして蓄積されます。データ駆動型研究で進展の著しい機械学習などにも、煩わしい前処理などをせずにすぐにご利用いただけます。

事業で定められた期間の後に、蓄積されたデータセットは事業が認める第三者へ、原則として有償で共用します。共用は非営利・非商用とし、学術および研究目的に限定することで、日本のマテリアル産業の強化に資することを目的とします。

見つけやすく、AIに使いやすいデータに構造化!

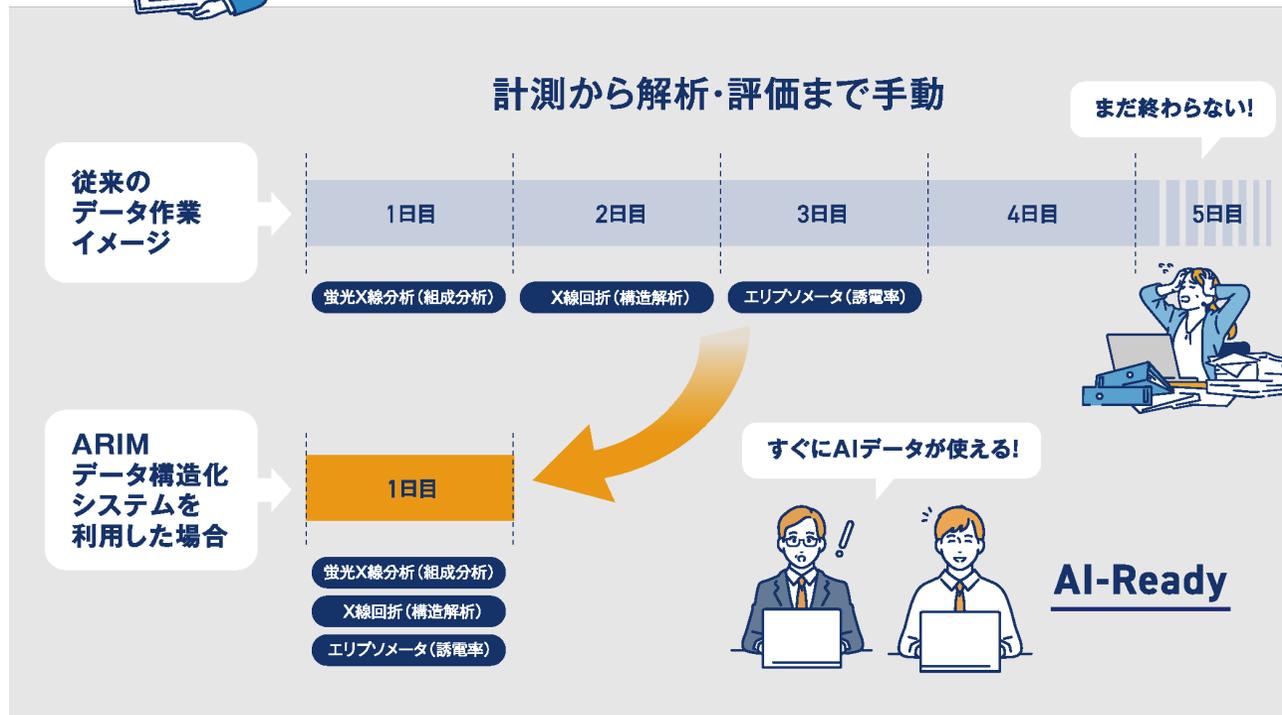




# データ構造化の自動化により、作業時間を大幅短縮!

登録によりデータは構造化されるため、複雑なファイル構造をもつデータや多量のデータであっても、すぐに使える形となります。また、データは系統的に蓄積されていきますので、データを登録した同じ研究チームの方が退職・卒業されたとしても、収集されたデータは散逸することなくいつでも確認することができるようになります。

**研究室でデータ構造化**  
卒業生のデータも散逸せずにデータ管理できます。



構造化されたデータは、事業参画25機関で共通したデータ形式にそろえたデータセットとして蓄積されます。データ駆動型研究で進展の著しい機械学習などにも、煩わしい前処理などをせずにすぐにご利用いただけます。



↑詳しくはこちらのパンフレットをご覧ください

# DICEアカウント登録について

---

DICEアカウントは、RDEデータ登録システムにログインするためのユーザー登録です。

一度登録頂きましたら、ご所属などの変更、メールアドレスが使用不可になるまで再登録は必要ありません。

別途マニュアルをご用意しておりますので、右のボタンからご確認ください。

DICE登録  
マニュアル

# 研究チームとは

※データ構造化非対応の装置をご利用の場合は対応後に順次お知らせいたします

利用申請毎に、RDE上にARIM名大微細加工担当者が研究チームを作成します。

初期の段階では報告書作成者 = 研究チーム管理者となっています。

当該申請において、装置を使用される方全員にDICEアカウントの取得をお願いします。

追加されるメンバーの氏名・所属・ご身分・メールアドレスをお知らせ下さい。アカウントを取得したメールアドレスで、研究チームに追加いたします。

追加メンバーの役割は、研究チーム管理者の判断で修正をお願いします。

(※エラー時対応のため、名大加工の加藤・秦が管理者代理として入っております。削除されないようお願いいたします)

尚データをご登録いただくデータセットは、利用申請1件に対し、使用される装置毎に作成されます。

## チームでの役割

研究チーム管理者	研究チームの代表責任者。 研究チームが所有する全てのデータセットへのデータ登録、データ閲覧、データDL、データ削除が可能。 データセット開設や研究チームメンバー編集も可能。
研究チーム管理者代理	研究チームの代表責任者代理。 研究チーム管理者と同等の権限を有する
研究チームメンバー	研究チームが所有する全てのデータセットに対してデータ登録、データ閲覧、データDLが可能。 データ削除は不可。
データ登録代行者	研究チームが所有する全てのデータセットへのデータ登録を代行する者。データ閲覧不可、データDL不可、データ削除不可。
データ閲覧者	研究チームが所有する全てのデータセットのデータ閲覧およびデータDLが可能。データ登録不可。データ削除不可。

# データセットについて

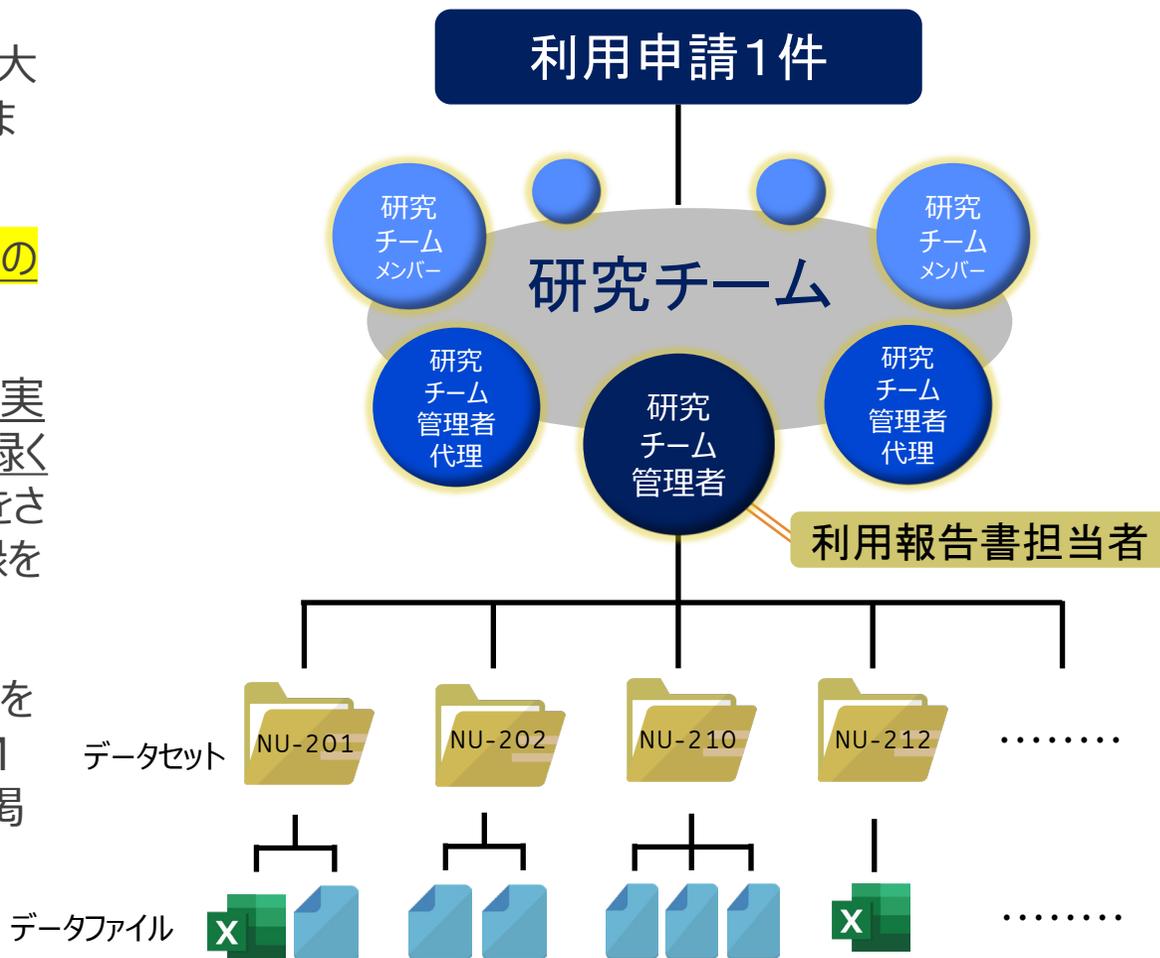
※データ構造化非対応の装置をご利用の場合は対応後に順次お知らせいたします

利用申請毎に、RDE上へARIM名大加工担当者が研究チームを作成します。

研究チームには、利用された装置別のデータセットが作成されます。

利用者の皆様は、このデータセットへ実験日（加工日）毎にデータをご登録ください。同日にお二人データを取得をされた場合、データの所有者毎に登録をお願いします。

データ登録については別途マニュアルを準備中です。登録開始までにARIM名大加工・デバイスプロセスのHPに掲載いたします。



# データ登録のタイミング

※データ構造化非対応の装置をご利用の場合は  
対応後に順次お知らせいたします

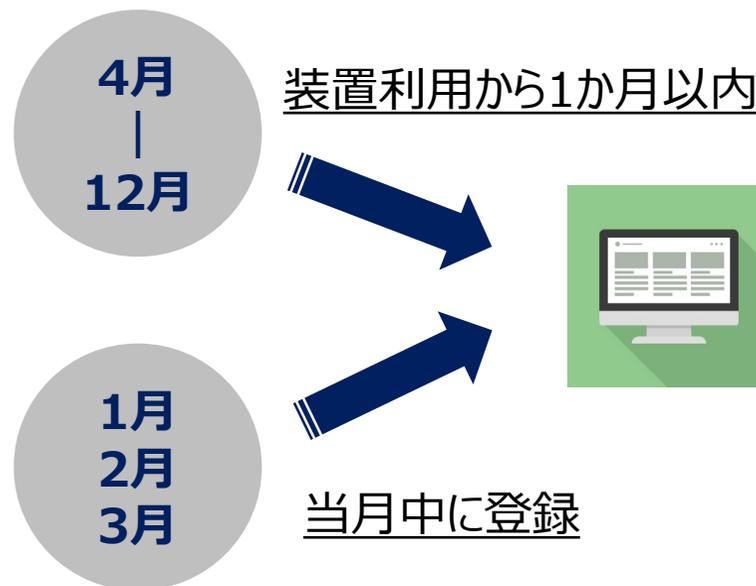
[装置別のデータ登録マニュアル](#)を参考に  
データの登録をお願いします。

年内の装置ご利用に関しましては、**ご利用  
日から1か月以内の登録**をお願いします。

1月～3月の装置ご利用につきましては、  
**ご利用の都度、登録**をお願いします。



## データご登録



装置ご利用当日のご登録をおすすめいたします

# RDEデータ登録の流れ

ユーザー	ARIM名古屋大学 データ担当
①利用申請	
②DICE登録 →データ登録担当へ登録済のメール	
	③研究チーム・データセット作成 (P6.7) (利用申請に記載いただいた装置のデータセットをご用意いたします)  ← メールにてデータ登録のご案内
④装置ご利用、データ登録を開始 RDEデータ登録システムへデータ登録をお願いします (装置利用日のご登録をおすすめします)	

**ご不明な点がございましたらお問い合わせください**

ARIM名古屋大学加工・デバイスプロセス分野 データ登録担当： 秦（はた） [hata.chiharu.n5@f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:hata.chiharu.n5@f.mail.nagoya-u.ac.jp)